

Department of International Economics ▶ CURRICULUM

Our International Courses

国際経済学科では、皆さんが在学中に世界各地の言語を習得できるように様々な地域言語の科目を用意しています。もちろん単に語学力の向上だけでなく、言語を通じて世界各地の経済や社会の実態を学びます。また「海外特別研修」等の科目では、現地において現状を観察し体験する機会も提供されています。さらに、毎年海外の大学から招聘する客員教授の英語による経済学講義・演習科目は、外国語と経済学の学びの両方を重視する本学科の特色を表す科目の1つです。在学中や卒業後に海外での活躍を夢見る皆さんの積極的な履修を期待しています。



3つの研究科目群

各研究群の観点から専門的な内容を学修

地域研究

世界の主要な地域や国を対象に、経済や政治の地域性に注目して学び、各地の経済・社会システムを理解する科目です。専任教員の指導の下、関心のある地域を深く掘り下げて学ぶとともに、異文化の特質を理解し、グローバルな視野を身につけます。



比較研究

日本とアメリカ、アジアとの経済関係、また企業経営や労使関係の国際比較、さらにEUなど経済統合の現状を学び、世界各地域・諸外国および日本の経済社会の特質を比較の視点から学修します。



問題群研究

国際協力、地球環境、資源・エネルギー、労働力移動、NGOの役割など、今日の地球規模の諸課題について、それぞれのテーマを専門とする教員の講義を通じて、その現状と課題について理解を深め、国際経済、国際社会および異文化に関するより専門性の高い知識を身につけます。



地域言語

世界経済を外国語で理解する力を養う

地域言語は、語学力強化を重視する本学科の核となる科目群の1つです。皆さんは1~2年次に必修あるいは選択必修の外国語科目として英語および英語以外の外国語を学びますが、本学科では1~4年次に専門科目の地域言語科目として「国際コミュニケーション」「経済時事英語」「国際事情(英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語)」「Global Economy」等の科目を用意し、経済社会のグローバル化に対応できるように皆さんの外国語習得と向上に向けての努力を強力にバックアップします。



Student Interview



2年

鈴木 理奈 さん

Rina Suzuki

この学科で得られる学びについて

国際経済学科では、現代の国際経済の現状について多角的に学んでいます。世界の国々の特質や文化など幅広い知識を得て視野を広げ、学んでいくととても楽しいです。国同士を比較していく中で、国際問題に対する解決策を自ら導き出す力が身につけてきたと実感すると共に、大学では論文作成やプレゼンテーション・ディベートを行う機会が多く、その都度試行錯誤していますが、回を重ねるごとに着実に自分の成長を感じ自信に繋がっています。また、英語と共にスペイン語を学ぶ中で、語学を学ぶ楽しさやスペインの魅力に気づくことができました。大学で語学力を高め、将来はグローバル社会の中で活躍できるよう日々努力しています。

印象に残った授業について

1年次前期の「専修大学入門ゼミナール」は、大学の授業形式やプレゼンテーション・ディスカッションの基礎をしっかりと身に付け大学生としての心構えを持つことができた他、大切な友人と出会えた印象深い授業でした。2年次で所属した傳ゼミナールでは、主にアフリカ経済や途上国開発について研究し学んでいます。アフリカ地域の特徴や現状について調べ、ゼミ生と互いの知識を深め合うと共に、自らが興味を持つテーマについても研究し、論文作成に取り組みます。また、他大学とのディスカッションやJICA訪問など、良い刺激を受ける機会が多くあり、ゼミ活動で参加した国際交流イベントでは、様々な国の人達と色々な言語でコミュニケーションをとる貴重な体験となりました。

My Favorite Items!



私だけのこだわり! 学びの必須アイテム

- ① 軽量PC | プレゼンテーションや論文・ノート作成にとっても役立つ必需品です。
- ② シャーペン | 高校生の頃から愛用しているとても書きやすいこだわりのシャーペンです。